

薬物乱用防止

～ 薬物乱用のない 健全な社会をつくりましょう！ ～

[組織犯罪対策第二課]

甘い言葉は断固拒否!!

NO! DRUG

覚醒剤や大麻などの薬物を勧めてくる人は、薬物の怖ろしさを隠して、「やせられる」「みんなやっている」などと甘い言葉で近寄ってきます。一度甘い罠にはまってしまうと、薬物なしではいられなくなり、続けて購入し、乱用してしまうという悪循環に陥ってしまうのです。

薬物の勧誘だと分かったら…
「話を打ち切り」、「きっぱり断り」、
「すぐに立ち去る」



薬物を使うとどうなるの？

● 体がボロボロになる



薬物による中毒は、「急性中毒」と「慢性中毒」の2つがあります。

急性中毒

初めて使った時や慣れて薬が効かなくなった時などに起きやすい。呼吸困難や、激しいけいれんが起き、意識を失って、そのまま死に至ることもあります。

慢性中毒

乱用を続けると、脳や神経、そして、心臓など大切な臓器が徐々に破壊されていきます。特に脳の神経細胞は、障害を受けると回復は困難です。

● やめたくても、やめられなくなる

乱用する回数が「どんどん増えていく」という悪循環に陥ります。

耐性

人の体は、薬の効き目に慣れてしまう性質があり、これを耐性と呼びます。そのため、薬物を乱用すると、使う回数と量がどんどん増えていきます。

依存性

薬物が切れた時の苦しみから逃れるために、さらに強い薬物を求めるようになります。害があると分かっても、もう自分では心と体をコントロールすることができません。これが依存性です。

銃器・薬物110番



皆さんからの通報が薬物犯罪の検挙に大いに結びつきます。

薬物に関する情報は、たとえそれが断片的なものでも、最寄りの警察署か

銃器・薬物110番 **022-266-1074**

へ連絡・相談してください。